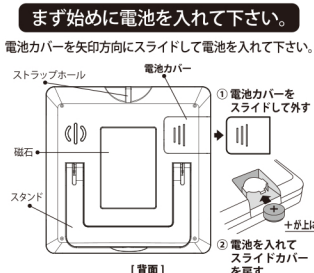
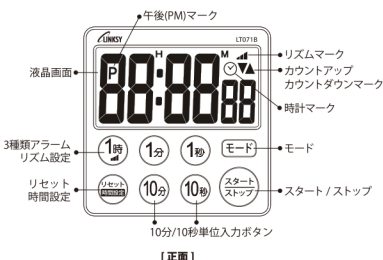


# 取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。  
また、いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。



## ご使用方法

### ＜カウントダウンタイマーとして使用する場合＞

- モードボタンでカウントダウンタイマーへ切り替えます。  
タイマー表示の際、画面右上に▼が表示されているとカウントダウンタイマーです。
- 計測したい時間を1時・1分・1秒・10分・10秒ボタンを使用しセットしてください。
- 最大99時間59分59秒まで計測可能です。
- 同じボタンを押すと加算され、長押しで早送りが可能です。  
※1秒・1分ボタンは9までカウントされ、0に戻ります。  
10単位の設定は10秒・10分ボタンをご使用ください。
- セット後、スタートボタンでカウントダウン開始、カウント中にストップを押すと一時停止します。  
もう一度ボタンを押すとカウントダウンを再開し、リセットボタンを押すと0に戻ります。
- 表示が00:00:00になるとアラームが最長40秒鳴ります。
- どのボタンを押してもアラームは止まります。
- リピート機能により、セットした時間へ表示が戻ります。
- カウントダウン中にモードボタンで他の機能へ切り替えた場合もカウントは継続しています。
- カウントアップタイマーとの同時使用も可能です。

### ＜カウントアップタイマーとして使用する場合＞

- モードボタンでカウントアップタイマーへ切り替えます。  
タイマー表示の際、画面右上に▲が表示されているとカウントアップタイマーです。
- スタートボタンでカウントアップ開始、カウント中にストップを押すと一時停止します。  
スタートボタンを押すとカウントアップを再開し、リセットボタンを押すと0に戻ります。
- カウントアップタイマー表示の際、1時・1分・1秒・10分・10秒ボタンは反応しません。
- 最大99時間59分59秒までカウント可能です、アラームは鳴りません。
- カウントアップ中にモードボタンで他の機能へ切り替えた場合もカウントは継続しています。
- カウントダウンタイマーとの同時使用も可能です。

### ＜時計として使用する場合＞

- モードボタンで時計へ切り替えます。  
時計の際、画面右上に⊙が表示されます。
- 時間設定ボタンを3秒長押しすると時刻表示が点滅します。  
点滅中に、1時・1分・1秒・10分・10秒ボタンを使用し時刻を合わせてください。  
再度時間設定ボタンを押して時刻確定、時計表示へ戻ります。  
※15秒間なにも操作しない場合も時計表示へ戻ります。
- 時刻は12時間表示となり、画面上のP表示をPM判断にご使用下さい。

### ＜アラームの選択方法＞

- 3種類のリズムから選ぶことができます。
- 時計表示のときにモードボタンを押すとアラーム設定が可能です。  
画面右上にリズムマークが表示されているとアラーム設定の画面です。  
1時間ボタン下部に記載されているマークがリズムマークです。
- アラーム設定画面で、▲ボタンを押すごとに1・2・3と切り替わり  
それぞれのリズムを確認することができます。  
選択したリズムの番号が表示された状態でモードボタンを押し設定完了です。

## 電池の交換

電池が消耗すると表示が薄くなるなど正確に作動しなくなります。  
このときは、新しい電池と交換してください。

- 使用電池：LR44×1
- 電池寿命：約1年（アラームを1日1回使用した場合）
- 本体裏面の電池蓋を開けてください。  
電池の+-を間違えないよう注意して新しい電池と交換してください。  
落下防止のため返しがついておりますのでマグネット側から  
ドライバーなど、先の細いもので押し出していただくと交換しやすいです。  
※付属の電池はモニター用電池のため、電池寿命が1年より短い場合があります。
- 電池を廃棄する際は、お住いの地域の処分方法に従って捨てるかお買い求めの  
販売店にご相談（処分依頼）下さい。

## 警告

- 電池を直接はんだ付け、ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないで  
ください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 万一、溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し  
目に入ったときは水で洗った後、直ちに医師に治療をうけてください。
- 電池は飲み込むと窒息や中毒のおそれがあり大変危険です。  
幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してくだ  
さい。他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因となります。